

JOCA Kyushu

だより

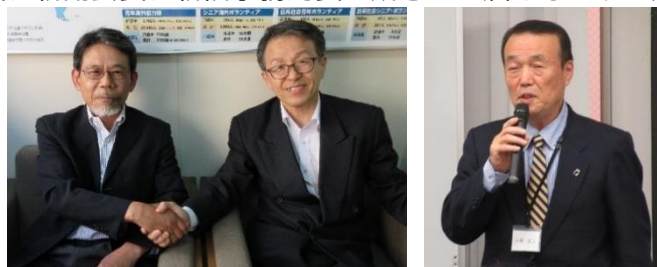


特定非営利活動法人
九州海外協力協会

2015年7月号

会長・副会長・事務局長交代！

当協会では先立っての総会を機に、会長・副会長および事務局長が交代しております。そこで今号では、新旧会長、新副会長、新旧事務局長の所感をお届けします。是非ご覧下さい。



がちりと握手を交わす新旧事務局長
写真左：武下悌治 新事務局長
写真右：丸田隆弘 前事務局長

山部征三 前会長
10年間、お疲れ様でした！

花田事務局長の後任として平成25年7月から2年間、2度目の事務局長を務めさせて頂きました。8年ぶりに戻った私にとって当協会は思い出の詰まった場所でした。岸相談役から預かった大日如来の石仏頭、韓国版協力隊OB会KOVAから頂いた置物、飯田OGから頂いたシュタイナーのにじみ絵、齊藤さんが微笑んでいる写真、世話をしていた観葉植物、赤いコーヒークップどれもこれも当時の懐かしい思い出が詰まっていました。平成16年10月設立当初3名のスタッフで業務を開始した事務所が、現在では11名に増え、事業の幅、量共に増加し立派なNPO・NGOに成長したと実感しました。この事は関係者ならびに会員の皆様からのご支援があったからこそ結果だと思えます。

今回は会長、副会長、専務理事兼事務局長全員の交替となり、新体制でのスタートになりました。私はJOCA九州を離れますが引き続き、武下事務局長及びスタッフの活躍を応援させて頂きます。 Muchas Gracias!! 【前事務局長 丸田隆弘】

みなさん、こんにちは。

6月1日より丸田前事務局長の業務を引き継ぎました。丸田前事務局長ほど明るいキャラではありませんが、向後、どうぞ宜しくお願い致します。

青年海外協力隊に縁を得て34年となりますが、その間、16年間はいろいろな形で協力隊事業に関わってきました。そして何千人と知れぬ協力隊員、あるいはOB・OGに関わってきました。皆の話聞く度に、つくづく色々な人生があるものだと感心していました。人生80年の中のわずか2年間ではありますが、そのわずか2年間の経験が、その後の50年の人生に大きな影響を与えることを思うと、事業に関わるものとして身の引き締まる思いがします。募集に始まり、帰国後支援に至るまで、皆様のご理解とご支援をいただきながら、真摯に取り組んで行きたいと思えます。

今年には協力隊発足50周年。半世紀を経た同事業が今後どうなるかは私達次第であるかも知れません。共に考え、議論しつつ、協力隊精神を以って出来ることは何でもやってみよう。【新事務局長 武下悌治】

JOCA九州が目指すもの

私が国際的活動に参加したのは父の戦死がきっかけでした。戦後の平和な中で育ち、父の戦死は自分にとって何を意味するのかと自問自答することがありました。そのような中で協力隊の活動を知りました。土木技術者として社会人になって数年が経っていました。マレーシアのボルネオ島で水路作りに参加しました。帰国後も一民間人の立場で国際関係の活動を続けてきました。

そのような青年海外協力隊を経験した人達が集まり、帰国後も国際活動を続けるために全国組織で「公益社団法人・青年海外協力協会」が発足しました。その活動を幅広く展開するために全国を八つのブロックに分け、それぞれ支部が設けられその一つが九州沖縄ブロックでした。そして、いずれかの時期にその支部は任意の団体ではなく、法人化して活動することを申し合わせていました。

九州沖縄の人達は「いいことなら前に進もう」という進取の気概に満ち、全国に先駆けて「特別非営利活動法人・九州海外協力協会」(略称=JOCA九州)が10年前に設立されました。JOCA九州は協力隊経験者のみならず、国際に関心をもつ一般の人達も入会して頂き活動が展開されています。

JOCA九州の活動は、「啓発」、「人材育成」、「地域貢献・世界貢献」この三つに要約することができます。「啓発」では、会報の発行やイベントを通して「世界を知る・動きを知る・参加する」活動を行って、国際交流や国際協力に関心をもつことが大事であることを伝えています。「人材育成」は、国際に関心をもつ人達を国際協力・国際交流の活動を理解・参加してもらい、将来、青年海外協力隊の隊員になってもらいたいとの思いがあります。これらの活動はこれからも永く続けて参ります。

JOCA九州は、隊員経験者をはじめ、有斐の一般の人達、自治体や企業の人達にご参加戴き順調に活動の発展を図り、順調に業績を伸ばすことができました。これも偏に、会員の皆様のご理解とご支援の賜物と感謝いたします。

10年を一つの節目として、このたび会長を交代することになりました。会員の皆様をはじめ、活動にご理解とご協力を戴きました自治体や学校、企業の皆様、JICA九州、並びにJOCA本部の皆様へ深甚の御礼を申し上げます。

皆様の今後のご健勝を心よりご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。【前会長 山部征三】



皆さんこんにちは。第11回通常総会において会長に選任されました昭和47年2次隊マレーシアOBの弓場秋信と申します。

私は、当会設立時に理事の一人として参画し、後に副会長として皆様と一緒に運営に携わってまいりました。設立当初の当会は、財政基盤も脆弱でJOCAからの借入で凌ぐ時期もありましたが、歴代の役職員や会員の奮闘により現在では自己資金での運営が盤石とは言えないまでも可能になりました。それは、JICAとJOCAよりの委託事業に加えて、民間企業・団体・自治体との連携による事業の多角化を進めた結果であります。

今後は、従来事業の拡充を図りながら、当会が得意とする分野での地域ニーズの発掘と事業提案、そして開発途上地域への貢献を目指してまいりたいと思います。それには会員の英知を集めた組織の充実と会員の拡大を図る必要があると考えます。

会員各位の益々のご支援ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。【新会長 弓場秋信】

このたびの総会の総意を得て、副会長に就任することになりました(宮崎県海外協力協会輩出、S63年2次隊・グアテマラ・土木施工)「明るく朗らかにアミーゴの如し」をモットーとする九州男児です。本年度は青年海外協力隊発足50周年また当該協会創立10周年の節目に、これまでの諸先輩方が粉骨砕身され、成長させた組織運営の重要ポストをお引き受けすることは、身の引き締まる思いで一杯です。この節目をさらに飛躍させるべく新会長と心を合わせ、特定非営利法人としての社会的責任を改めて自覚しつつ、変化への対応と堅実な中にも積極的なNPO運営を図り、社会的使命を果たしていく所存です。最後に、皆さまのご理解とご協力を切にお願い申し上げ、副会長就任の挨拶とさせていただきます。【新副会長 橋邊正之(はしべまさし)】



←
第10回通常総会および懇親会の様子

第10回通常総会

5月23日に第10回通常総会を実施し、九州各地から会員の方々にご参加頂きました。昨年の実施事業・会計報告を行い、今年度の事業計画・予算案や役員改選に係る審議を行い、全て承認を得ることができました。



また、昨年度末に「グローバルステージinブラジル」に参加した米村職員より研修報告を行いました。この経験を活かし、今後の事業展開へと繋げていきたいと考えております。

総会終了後に催した懇親会では、活発な意見・情報交換の場となりました。長年協会を支えて頂き、5月に退任される山部会長や原田理事からご挨拶を頂き、これまでの様々な活動とその想いをお話し頂きました。さらに、事務所内を常に盛り立てて頂いた丸田前局長からも素敵なスピーチを頂き、九州海外協力協会への熱い想いを感じました。

これから新たな体制となりますが、どうぞ本年度も変わらずご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。(武井)

春の募集説明会 終了いたしました。

3月末から4月末にかけて、平成27年度JICAボランティア春募集体験談&説明会が行われました。今回は春としては異例の日系社会青年ボランティアの募集も行われ、また、天神ビルにて同日の午前と午後に説明会を行い、その間の時間に「グローバルカフェ」として世界のお茶やコーヒーを出したり、写真の展示を行ったりという新たな試みを行いました。皆様のご協力、大変ありがとうございました！

九州全体での参加者は青年層で449人、シニア層で253人でした。参加者を去年の春と比べると、青年層では-16%となってしまいましたが、シニア層では11%の増加です。全国的には青年層で-26%、シニア層で-31%という状況の中では、特にシニア層の元気さが目立ちます！

僕たちに
できることは
必ずある



春の募集説明会が終わったばかりではありますが、既に事務所では秋の募集説明会に向けて動き出しております。次回も皆様のご支援・ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。(古泉)

交流プログラム

ここ八幡支部があるJICA九州には年間1000人の途上国からの人材が、日本の技術を学びに研修にやってきます。

来日して2~3日のタイミングで「交流プログラム」を実施します。日本人や日本文化に触れることのできるこのプログラムは研修員に大好評！！「楽しかった！日本人は優しく親切だった」「彼らの生活の様子を見ることはとても興味深い」等の感想もよせられます。また受け入れて頂いている団体も、学生サークル、小学校、大学ゼミ、年長者学校、英語サークル、保育所などとバラエティー豊かです。6月末までにすでに9件の団体が交流プログラムを実施しました。

調整する自分としては、こうした草の根レベルのふれあいが、来日間もない研修員の良いアイスブレイクになり研修にも集中でき、親日家・知日家育成にもつながり、受け入れ団体の国際的視野の涵養にもなると信じて、毎回の交流を行っています。(米村)



ガールズだらけのセンター訪問！！

去る5月15日(金)、JICA九州国際センター訪問プログラムでJICA九州の地元、製鉄記念八幡看護専門学校の1、2年生と先生方、総勢88名がご来館下さいました。しかも！なんと全員女性です！！

この日は、午前中はJICA職員によるJICA事業の説明を受けたり、協力隊の体験談を聴講するなど講義が中心となり、午後は2グループに分かれワークショップとクバーラを交互に行いました。ワークショップでは架空の国・地域で起こった「少年の死」の事例を通し、開発途上国の保健医療の現状を理解していただきました。

また、全員女性のクバーラは大変盛り上がり、スライディングまで飛び出す状態！女の子のパワーって、本当にすごい！当日のアンケートでは「国際看護について考えることができた」「私もいつか国際協力できるような技術・知識を身につけたい」など、学生にとって海外に目を向けるきっかけとなったのではないかなと思える回答が多く見られました。

オーダーメイドプログラムで世界を学ぶセンター訪問。皆様のお近くにご関心のある方がいらっしゃいましたら、是非ご案内下さい！（橋口）



クバーラで育むチームワーク！

福岡市博多区にある席田小学校(主催:席田校区子ども会育成連合会)にて、6月7日・6月28日と2回連続講座でクバーラを通じた国際協力出前講座を実施しました。目的は国際理解と学年を超えた人間関係の育成です。

内容はいずれも、元青年海外協力隊体験談(7日はベナン、28日はエジプトの元隊員)とクバーラ体験だったので、初回の7日には高学年のみが参加し、クバーラのプロになってもらいました。そして次の28日には、7日に参加した高学年がクバーラリーダーとなり、初めて参加した低学年にクバーラを教えながら実施しました。



チームワークがゲームの勝敗を決めるクバーラ。上級生が下級生にクバーラを指導し、一緒に知恵を絞りながら作戦を立てている様子やどのチームにも見受けられ、学年を超えた絆が図られていたようです。その甲斐あってか白熱したゲームが繰り広げられました！

クバーラを通じて世界を身近に感じてもらい、また児童間の絆も一段と強まったようです。(佃)

命の水プロジェクト

2012年の7月から始まった「命の水プロジェクト」。早いもので、3年がたちました。

4、5月の出張でモニタリングも終了し、7月のファイナルレポートの提出に向けて必死に取り組んでいます。

プロジェクトでは水道のない地域の人々が安全な水にアクセスできるように、さまざまな活動を行いました。

なかでも、スヴァーイチェイク小・中学校に水処理装置を設置し、水を販売できるようになったことは大きな成果であると思います。

しかし、安全な水が安価で手に入るようになったとしても、購入するためには現金収入が必要です。

さらに、カンボジアの農村では塩素が入った水に触れることも初めてです。薬が嫌いな(というか抵抗のある)カンボジア人にとって塩素の入った水が受け入れられるかも大きな課題になっています。しかし、滅菌していない水が原因と思われる病気が農村部で多いのも事実です。

水処理装置の設置場所である、学校中心に衛生教育を実施することで、徐々に受け入れられていけば...と考えています。命の水プロジェクトはいったんの区切りを迎えますが、これからも現地のサポートは続けて行きます！！

応援よろしくお願いたします！（河野）



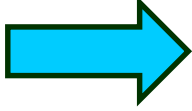
☆パンフレットリニューアルしました☆

皆様におなじみの(?)この表紙から、



現在、そしてこの先の豊かな未来へ

この表紙へ!



新しいパンフレットの表紙の写真は、
現職員の任国での一押し一枚!
もちろん中身も更新されております。



「小さくてよく見えないわ」とお思いの方!
何かの機会に、是非お手にとってご覧下さい☆

メール

料金後納
郵便

特定非営利活動法人九州海外協力協会
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館
2F AB号室
TEL:092-415-6536
E-mail:ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp



(特活)九州海外協力協会 ☆会員募集中☆
当協会では、活動に御賛同いただける団体・個人の皆様に募集しております。会員の方には四半期毎に発行しております「JOCA kyushuだより」をお送りさせていただいているほか、当会主催、共催のイベント情報などをご案内しております。是非ともご入会下さい!

※ご関心のある方は、当会までお問い合わせ下さい。

JOCA Kyushu ぶろぐ
スタッフが日々の業務やそれぞれの日常を徒然なるままに綴っております。お時間のあるときにぜひご覧下さい。
基本的には毎週水曜日更新!
コメントお待ちしております☆
<http://blogs.yahoo.co.jp/jocakyushu/MYBLOG/yblog.html>

《編集後記》
暑い夏が来ます。夏と言えば、「高校生国際協力実体験プログラム」や「夏の教室」、当協会での大学生のインターンシップ等、「国際協力」の一端に触れる機会が多い季節です。
夏休みを利用して是非一度、国際協力のあり方について再考してみませんか? (古泉)

発行 特定非営利活動法人 九州海外協力協会
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34
Mビル3号館 2F AB号室
TEL:092-415-6536
FAX:092-415-6518
HP: www.joca-kyushu.or.jp/
E-mail: ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

